

土木施設の命名技法に関する風土・感性工学的研究

A climatic and kansei engineering research on naming technique of public works institutions

長町 三生** 竹林征三***

by Mitsuo Nagamachi, Seisou Takebayashi

1. 土木施設命名の風土工学

土木技術は、土木施設の”かたち”のデザインとともに、施設名をデザインする技術でもある。土木は地図に残る仕事というよりは、地図に名前をつける仕事である。土木施設の名称は商品や人間の名称より時空間スケールで、よりパブリックであり、より寿命が長いことにより簡単には変えられず、慎重によく検討して命名しなければならない。これまでに、一般公募等や容易で責任転嫁的な命名があったことは確かである。

(1) 命名の風土工学フロチャート ー命名技法・五段階法ー

風土工学として、多様な案をできるだけシステマチックに展開する第1ステップ、それを発送展開する第2ステップ、評価尺度として美の演出三定理による10項目のチェックリストを用いた第3ステップ、意思決定満足化原理によるすり込みを行う第4ステップ、それに好感度分析等による意思決定支援するプロセスである第5ステップ、より構成されている(図-1参照)。

(2) 命名案案創出発展展開技法 ー2段階法ー

1) 第1ステップー風土工学I類ブレイクダ

風土において、土木施設の存在を認めるのは三超

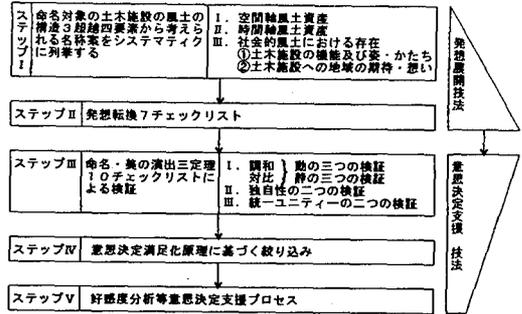


図-1 命名の風土工学フローチャート

越四要素である。すなわち、風土の構造三超越四要素に因めないか風土工学I類のブレイクダウンKJ法で展開していくことである(表-1)。

表-1 土木施設命名のシート

地名	地方名、県名、郡名、市町村名、大字名、小字名、通称名
河川名	水系名、流域名、一次支川名、二次支川名、三次支川名、沢名
近傍施設地名	山系名、温泉名、養老地名、頂谷名、湧石、天照記念物名、森林名、湖地名、湖沼名
近傍自然物名	動物名、植物名(樹木、草木、花木)、岩石名、風物名
社会施設名	寺社、仏閣、舞臺、城、城跡、街道、辻名、峠名、名所旧跡
時代性	明治、大正、昭和、平成
人物事件	事業者、オーナー、設計者、命名者、関係文化人等、著名人、(事例)橋介橋
時代背景	イベント名、祭名、儀式名、パブル、オリンピック(聖)
歴史地名	旧地名、地方を指す枝詞、(事例)まほろば湖、香蓮湖
故事来歴	伝説、民間、故事、歴史的事件、歴史上の人物、(事例)神楽湖
本来機能	風道○○△△線、都市計画道路、○○停車場、○○多目的ダム
名称の形状 存在 存在 存在	○○アーチ橋、○○ループ橋、橋脚、かもめ橋、(事例)風車橋、(アーチダム)の形状
その もの 存在	丈夫で長持ち (例) 弥生橋、万才橋、千歳橋、舟橋
美しさ	(例) (事例)乙女の湖、伊豆の真珠、伊豆の磯、美智湖
意匠達成	(例) (事例)豊後池、満遊池、安藤橋

2) 第2ステップー風土工学ー発想転換チェックリスト法

オズボーンは発想転換を修正して、そのうちの7項目をブレンストーミング的に展開して利用する。

3) 第3ステップー美の演出三定理ー10項目チェックリスト法

美の秩序、ユニティーの原理と美の演出三定理、調和、

* キーワード：景観設計、名前の命名法、風土工学

** 正会員，国立呉工業高等専門学校

(〒737 広島県呉市阿賀南2-2-11

tel, 0823-73-8404 fax, 0823-71-9125)

*** 正会員，建設省土木研究所

(〒305 茨城県つくば市旭一番地

tel, 0298-64-2211 fax, 0298-64-7183)

表-2 発想転換の7つのチェックリスト

変 化	字体読み方	漢字→平仮名、片假名、アルファベット、旧字体、 漢字(漢)→カタカナ、漢字、漢語、漢語漢	組み 合わせ	社会地名	{地名と地名}みやび湖、三珠湖(三崎町、赤松村、美郷町) # # {(同様の地名)鳥飼に相争大橋、若戸大橋}
広 大	漢字追加	新○○、大○○、新○○、奥○○、その他漢語、枕詞		自然地名	{地名と山名}青森湖、 {(山名と山名)}奥出雲湖、奥山崎金山湖
縮 小	より広い概念	小字名 → 大字名 → 市町村名 → 郡名 → 県名 → 地方名		歴史地名	{歴史地名と河川名}土佐橋、歴史みどりかわ湖 {歴史地名と山名}南野芹富士湖
	漢字削除	○○△ → △△、○○× → ×△ 堀川橋 (完満堀川)		故事実歴・時代	{ダム名と時代名}下瀬平成湖、{歴史地名と故事}肥後平家湖
	漢字削除	○○△ → ○△、○○× → ○× 東瀬湖 (東瀬湖)		人物	{人名と人名}国東池 (お国とお東)、{河川名と人名}井川五郎湖
上 代 よ 用	より狭い概念	地方名 → 県名 → 郡名 → 市町村名 → 大字名 → 小字名		折廻 etc	{折廻と産物}映湖湖、{地名と折廻}阿多峰紅葉湖
	用をたどる	豊後池、満濃池、ジャジャンボ池		文字順序の逆転	○○△ → △○○ 奥山湖 → 山奥湖
	強をたどる	施設の寿命、千歳橋、万才橋		イメージの逆転	アツ → ヨシ 皮野ダム → 豊丘ダム
	弱をたどる	美しさを鏡の飛び立つ姿と美しい湖水 旗橋湖、風風湖		ダム名とダム湖名の逆転	{布引ダムと五本松貯水池} or {五本松ダムと布引貯水池}
	自然風土にたどる	日光湯の湖にたどって上州湯の湖		組み合わせの逆転	藤丸丸山湖 or 丸山藤水湖
歴史事象にたどる	古代の王様の偉業 神皇湖	アレンジ	位置関係	{横北ダムと横南ダム}、{北電湖と南電湖}、{奥新沢、新沢、下新沢}	
言葉・響きをたどる	遠閑山の麓の湖 → 仙穂湖		時間関係	{大阪駅と新大阪駅}、{東名と東2東名}	
			概念関係	{神皇湖と神水湖}、{豊満湖、神皇湖、白鳥湖 etc。} {火積湖、水積湖、木積湖、金積湖、土積湖}	

対比、アイデンティティにより、第2ステップまで創出されたものをシステムチックに評定していく。

(ア) ハーモニー調和とコントラスト対比のび検証

- 第1チェック サウンドの響きがイメージを造る
- 第2チェック 読みやすさの検証
- 第3チェック 書きやすさの検証
- 第4チェック 地域の空間軸風土資産と調和の美、対比の美を形成しているかどうか
- 第5チェック 時間軸風土資産と調和の美、対比の美を形成しているか
- 第6チェック 土木施設の社会的構造における存在と名称と調和の美
- 第7チェック inputされやすいかどうか

(イ) アイデンティティの美、独自性、識別性のびの検証

- 第8チェック 他との識別がまず第1視覚と聴覚の検証— (1) 同名、同音、(2) 同名、異音、(3) 異音、同音のチェック

(ウ) ユニティ統一の原理—美の検証

- 第9チェック ひとつの名前としてとらえず、他の土木施設名とあわせて大きなコンセプトのもとで命名するとどうなるか

第10チェック たの外国語とのイメージチェック

4) 第4ステップ-意思決定満足化原理

多くの命名における意思決定法略は満足化原理により意思決定される。意思決定法略として、相補型のものとして加算型(等荷重型と荷重加算型)、加算差別、そして非相補型のものとして連絡型、分離型、辞書編纂型、

半順序的辞書編纂型、Elimination by Aspect型がある、

コンピュータによる発想技法、発想転換技法の支援による提案、選択肢の飛躍は拡大が考えられるが、それらに対応して、コンピュータによる絞り込み原理として、やはり満足化原理に基づく支援が欠かせない。

5) 第5ステップ-意思決定支援としての感度分析

意思決定支援コンピュータシステムとしては、多属性効用論を利用するシステム、いくつかの決定法略を用いるシステム、ファジイ集合論をもとに多属性効用を利用するシステム等があり、意思決定者とコンピュータとの相互作用を容易に実現できる対話形式を利用するものが考えられる。現在のSステップとしては、SD法や数量化理論による感度分析の事例研究を展開してきている。

2. 感性工学からみた命名システム

(1) 感性工学

感性工学 (Kansei Engineering)とは、「人間が持つ感性を製品や河川などの物理的特性や物理量に変換(翻訳)する技術」である。これまでに、感性工学は、新製品開発に関しては自動車、建設機械、家庭電器、衣装、住宅などに応用されいづれもヒット商品となり、成功している。また、都市景観や河川景観計画にも応用されつつある。

感性工学の方法論としては、第1類、第2類、第3類、第4類、第5類とあり、それぞれ特色が異なる。

(2) ことばの感性(響き)のモデル

われわれが発声する際には、図-2の発声機構を制御することで行う。たとえば、Pは両唇を閉鎖後開放す

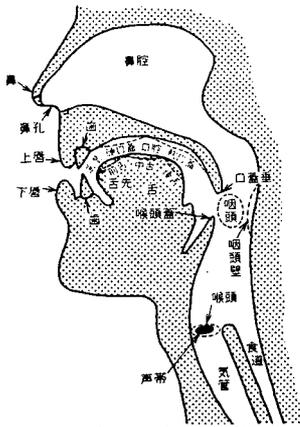


図-2 調音に関する解剖図

ることで発声できるし、マ行は喉頭で呼気を閉鎖し鼻腔を通して流出することで発声する。前者のように、発声する場所のことを音韻学では「調音点」といい、後者の呼気をどのように流すかの発声方法を「調音種」という。ア行からんまでのことばについて、音韻学の立場から調音点と調音種についてすべてを分析し、並びにすべての単音の感性を人間工学実験により評価した。

これらすべてのデータを数量化理論I類にかけた結果の1例が表-3である。

表-3 「あたたかい-つめたい」の分析結果

形容詞：あたたかい-つめたい				
清音	総合	男性データ	女性データ	
重相関係数	0.7708	0.7646	0.7576	
アイテム/カテゴリー	スコア	スコア	スコア	
列	偏相関係数	0.563	0.604	0.618
	イ列	0.2422	0.1632	0.3865
	エ列	0.2185	0.1282	0.3881
	ア列	-0.2561	-0.3103	-0.1678
	オ列	-0.1590	-0.1111	-0.3003
	ウ列	0.0291	0.1025	-0.1697
調音種	ン	-0.0307	0.8763	-0.4260
	偏相関係数	0.571	0.526	0.580
	鼻音	-0.2823	-0.2637	-0.3243
	閉鎖音	-0.0223	-0.0377	-0.0123
	摩擦音	0.2718	0.2177	0.3934
	接近音・母音	0.1072	0.1137	0.0924
調音点位置	破擦音	0.2951	0.3128	0.2551
	流音	-0.1753	-0.0871	-0.3737
	偏相関係数	0.649	0.648	0.565
	両唇音	-0.2248	-0.1770	-0.2988
	歯音・歯茎音	0.1373	0.1260	0.1963
	硬口蓋歯茎音	0.0244	0.1604	-0.2482
調音点位置	硬口蓋音	-0.2127	-0.2605	-0.0713
	軟口蓋音	0.4592	0.5003	0.4003
	声門音・母音	-0.2575	-0.2460	-0.2499

男性からみると、「あたたかい」響きがあるのは、ア列、鼻音（調音種）、声門音（ハヘホ-調音点）などのことばである。

この特性を図-3のファジィ積分モデルで計算をさせた。ランダムな4文字の全体感性評価をZとしてウエイト値をもとめ、それをことばの響きシステムWIDIA Sと命名した1、2)。

なるか			
やわらかい	■	かたい	■
明るい	■	暗い	■
広がりのある	■	広がりがない	■
ユニークな	■	ユニークでない	■
開放的な	■	開放的でない	■
重厚な	■	軽快な	■
さわやかな	■	さわやかでない	■
はっきりした	■	あいまいな	■
シンプルな	■	シンプルでない	■
華やかな	■	地味な	■
あたたかい	■	冷たい	■
個性的な	■	個性的でない	■
躍動感のある	■	躍動感のない	■
響きのよい	■	響きの悪い	■
丸みのある	■	角張った	■
優しい	■	優しくない	■
男性的な	■	女性的な	■
流動感のある	■	流動感のない	■
鋭い	■	鋭くない	■
力強い	■	力強くない	■
上品な	■	上品でない	■
今風な	■	古風な	■
かわいい	■	かわいくない	■
素朴な	■	素朴でない	■
日本的な	■	外国的な	■
魅力的な	■	魅力的でない	■
ロマンチックな	■	ロマンチックでない	■
心地よい	■	心地よくない	■
乾いた	■	湿った	■
アダルトな	■	ヤングな	■
印象に残る	■	印象に残らない	■
美しい	■	美しくない	■
知的な	■	知的でない	■
健康的な	■	健康的でない	■
なめらかな	■	ぎすぎすした	■
単調な	■	単調でない	■
ざっぱりした	■	ざっぱりしてない	■
活発な	■	おとなしい	■
落ち着きのある	■	落ち着きのない	■
高級感のある	■	高級感のない	■

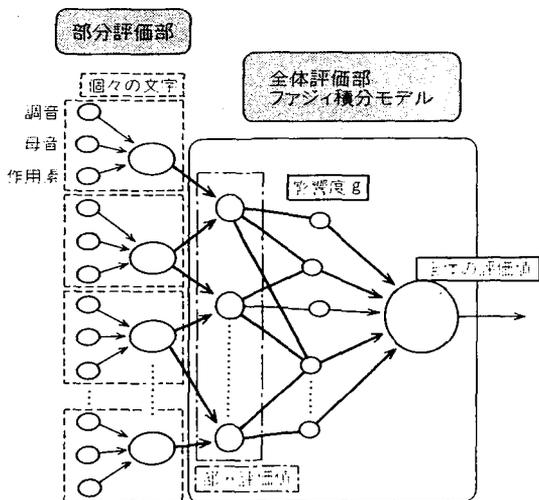


図-3 ことばの響きの評価モデル

3. 風土・感性工学からの命名解析の実例

(1) 鳴鹿大堰

第1章で述べたように、本来なら土木施設の命名に関しては、当該地域の文化・風土を十分に考慮して民話なども取り入れながらハードウェアのデザインと平行して、名称の命名をすべきである。

ひとつの実例として、福井県で建設中の「鳴鹿大堰」がある。これは当地の民話に登場する神の代理者のことであるが、この命名をWIDIASで感性を診断を試みた。「なるか」という命名は、「柔らかくて、明るくて、ユニークで、上品で、印象に残る、美しい名前」であるという。民話そのものをあらわした感性であることがわかり、成功した命名といえる。

(2) 真名姫湖

WIDIASはいまのところ、漢字を認識できず発声の響きについての診断をするだけである。「まなひめ」に関しては、つぎの図のとおり、「柔らかくて、明るくて、優しくて、女性的で、上品で日本的」と診断をしている。

(3) 風土・感性工学命名システム

WIDIASは、現時点でもこれほどの認識レベルをもっているが、これに漢字認識能力、地名の名称認識、民話を含めた文化の認識能力などをインプリメントすれば、将来もっと認識レベルの高いシステムになることが期待される。

文献

- 1) 長町三生、感性工学のおはなし、日本規格協会、1995年。
- 2) 長町三生、言葉の響きに関する感性工学、日本音響学会、1993, 49 (9), pp.638-644.

まなひめ							
やわらかい	■■■■	かたい	■■■■	上品な	■■■■	上品でない	■■■■
明るい	■■■■	暗い	■■■■	今風な	■■■■	古風な	■■■■
広がりがある	■■■■	広がりのない	■■■■	かわいい	■■■■	かわいくない	■■■■
ユニークな	■■■■	ユニークでない	■■■■	素朴な	■■■■	素朴でない	■■■■
開放的な	■■■■	開放的でない	■■■■	日本的な	■■■■	外国的な	■■■■
重厚な	■■■■	軽快な	■■■■	魅力的な	■■■■	魅力的でない	■■■■
さわやかな	■■■■	さわやかでない	■■■■	ロマンチックな	■■■■	ロマンチックでない	■■■■
はっきりした	■■■■	あいまいな	■■■■	心地よい	■■■■	心地よくない	■■■■
シンプルな	■■■■	シンプルでない	■■■■	乾いた	■■■■	湿った	■■■■
華やかな	■■■■	地味な	■■■■	アダルトな	■■■■	ヤングな	■■■■
あたたかい	■■■■	冷たい	■■■■	印象に残る	■■■■	印象に残らない	■■■■
個性的な	■■■■	個性的でない	■■■■	美しい	■■■■	美しくない	■■■■
躍動感がある	■■■■	躍動感のない	■■■■	知的な	■■■■	知的でない	■■■■
響きのよい	■■■■	響きの悪い	■■■■	健康的な	■■■■	健康的でない	■■■■
丸みのある	■■■■	角張った	■■■■	なめらかな	■■■■	ぎすぎすした	■■■■
優しい	■■■■	優しくない	■■■■	単調な	■■■■	単調でない	■■■■
男性的な	■■■■	女性的な	■■■■	ざっぱりした	■■■■	ざっぱりしてない	■■■■
流動感がある	■■■■	流動感のない	■■■■	活発な	■■■■	おとなしい	■■■■
鋭い	■■■■	鈍い	■■■■	落ち着きのある	■■■■	落ち着きのない	■■■■
力強い	■■■■	力がない	■■■■	高級感のある	■■■■	高級感のない	■■■■